

# ホタル観察はルールを守りましょう

4月中旬から5月上旬にかけて、クメジマホタルをはじめ、数種のホタルが飛び交う季節となります。ホタルの観察は、以下のルールを守り楽しみましょう。



## ホタルを捕まえないでください

クメジマボタルは、世界中で久米島にしかいない貴重なホタルです。絶対に捕まえたりしないようにしましょう。他のホタルも、指でつかむと弱ったり、死んでしまいます。

## 環境をきれいに保ちましょう

ホタルは、水のきれいな川や森の周辺にしか棲むことができません。また、生息地をよごさないように、ゴミは必ず持ち帰るようにしましょう。

## 生息地周辺の木々を伐採しない

ホタルといえば、ひらけた川を飛び交うイメージがありますが、クメジマボタルは、木々でトンネル状に覆われた川に生息します。ホタルを見やすくする目的で木々の伐採はしないでください。

※クメジマボタルは、沖縄県天然記念物・絶滅危惧ⅠA類・国内希少野生動植物種として、保護対象種に指定されており、捕獲、殺傷、生息場所を改変する行為は禁止されています。飛んでいるホタルを手にとって観察することや、ホタルを見やすくするために生息場所周辺の草木を伐採することは違法な行為となり、国の法律で、罰則が課せられます。

## 光をあてないでください

ホタルは、お互いの光でコミュニケーションを取っています。他の光があると、ホタル同士の光のコミュニケーションができなくなるため、繁殖に大きな影響を及ぼします。車のライト、懐中電灯、携帯電話の光、タバコなどをホタルにあてないようにしましょう。特に車の横付け、撮影におけるカメラのフラッシュはやめてください。

## ハブに注意しましょう

ホタルが飛ぶ時期は、ハブが活動を始める時期なので注意しましょう。草むらや藪（やぶ）、サトウキビ畑には入らないようにし、ライトは足下を照らすようにしましょう。



## 目指せ！人と猫と一緒に暮らすことができる島

### 第13回 猫の不妊手術キャンペーン & TNR・TNTAプロジェクト 結果報告

1月22日～1月25日の4日間、東京から専門の獣医師を誘致し、西銘～比屋定を中心に、島内全域の飼猫向けに、格安での不妊手術、また、TNR（不妊手術）・TNTA（保護）を行いました。

- 不妊手術 計119頭：去勢手術♂69頭、避妊手術♀50頭  
→[事前予約] 25頭(19件) [飼主・餌やりさんへ声がけで予約] 80頭(23件)  
[所属不明・野良猫] 14頭 ※明らかに栄養状態の良い、人がエサを与えていると分かる猫は、一部を除き手術せずリリースしています。
- 里親募集の為の島外搬出 計19頭 →別途島内で3頭預かり中

✓カットが入った猫を「さくらねこ」と呼びます。  
久米島には横一文字カットの猫もいます。



あかし  
カットの耳は手術の証

今回も、Felv(通称：猫白血病)、Fiv(通称：猫エイズ)に感染している猫が新たに確認されました。

オス猫は喧嘩、メス猫は交尾により感染する事が多く、既に感染している猫に関しては、手術済みであれば喧嘩等の理由で猫を感染させるリスクは下がりますが、感染を防ぐ為に、できる限り早く不妊手術を受けさせ、室内飼育をするなど、感染対策が重要です。

「1匹居着いたらすぐ手術」を徹底しましょう!

「餌を与えたら居着いてしまった」、「気付いたら増えてしまってどうしたら良いのか分からない」、など、対策を講じなければ猫は増える一方です。

先送りにすれば、問題はどんどん大きくなります。非常に大きなお金、労力が必要になります。

お問い合わせ 環境保全課 ☎985-7126